

議員研修参加報告

土浦市議会議員 矢口 勝雄
於 全国市町村国際文化研修所

◇ 全国市町村国際文化研修所 主催

「住民とのコミュニケーション」 ～対話と発信力の向上～

◇ 受講日：令和4年8月25日～26日

◇ 講師：本間 正人 氏

京都芸術大学 教授、社会構想大学院大学 客員教授、成人教育学博士
東京大学文学部社会学科を卒業後、松下政経塾第3期生として入塾し、松下幸之助の経営哲学を学ぶ。「教育学」を超える「学習学」を提唱。「研修講師塾」を主宰し多数の講師を養成。超参加型の企業研修講師として定評がある。コーチングやポジティブ組織開発、ほめ言葉などの著書多数。コーチングの大御所との評。

日頃議員活動を進めるうえで、市民とのコミュニケーションの取り方には重要性を強く感じていました。多様化する市民からの行政ニーズを上手に聞き取り施策に反映させていくのはもちろんのこと、市政に関する話題などの情報発信の仕方など、議員としてのスキルを磨きたいとの思いから、今回住民とのコミュニケーションをテーマとする研修会に参加してきました。

定員60名のところ当日の参加者は57名、急な欠席があることを考えると、定員いっぱい申し込みがあったのだと思われます。このことから住民とのコミュニケーションは、私たち議員にとってとても重要なテーマなのであると再認識しました。北は福島県から、南は熊本県までの議員との交流も私にとってとても貴重な機会でありました。今回の講義は単にコミュニケーションという枠にとどまらず、議員活動全般にわたっており、学びの多いとても実りある研修でした。

◇ 以下、多くの学びの中でも特に印象に残った内容を報告します。

・ 最終学歴 ——> 最新学歴へ

最新学習歴を更新していくことが、人生を豊かにする

・ ハウスルールの設定 これが上手くいっていないと離婚につながる

- ・ 市政報告会
 - これは名称が良くない、意見交換会などに変えるべき
 - 発言はどうしても特定の人に偏りがち
 - 一人で聞くには限界がある 議会、行政、グループで行う

- ・ コミュニケーション3つの機能
 - (1) 理解を増やす
 - イメージと事実
 - (2) 人間関係に影響を与える
 - フェイス・トゥ・フェイス・コミュニケーションが基本
 - 人間関係に対する影響度は
 - 言語コミュニケーション < 非言語コミュニケーション
 - (距離、視線、表情、動作、声)
 - (3) 信頼関係を築く
 - 聴く、言行一致、守秘義務

- ・ ダイアログ
 - 聞きあう、否定しない、多様性を楽しむ、自分の意見を言う

- ・ コーチングの考え方
 - 「教え込む」のではなく「引き出す」のがコーチング
 - 3つのスキル ①傾聴 ②質問 ≠ 詰問 ③承認=ほめる
 - コーチングの理念 = 信・認・任
 - 信：人間の可能性を信じる 上司・部下の信頼関係
 - 認：良い所を見て心にとめる
 - 任：適材適所の業務・目標を任せる

- ・ 傾聴のスキル
 - 「共感欲求」 VS 「有能性の証明」
 - アクティブリスニングの3要素
 - あいづち・うなずき・繰り返し

◆ 全体を通しての感想

今回の講師の本間 正人 氏は、テレビにも度々出演されている方でもあり、豊富な知識と受講者を飽きさせない話術を持った、素晴らしい先生でありました。今まで何度も議員向けの研修会に参加してきましたが、講義の面白さでは断トツだったと思います。

2名から4名のグループを組み、ヒーローインタビュー、ブラインドウォークなどの実践的なワークショップ、ロールプレイングゲームを数多く取り入れ、眠くなる暇もない濃密な時間を過ごせたと思います。今回行われた内容は、機会があれば私自身が企画してみたいと思います。

大津市までの移動は時間と費用がそれなりにかかりますが、受講料の安さ、プログラムの充実度、そして何より全国からやる気のある議員が集まるのが、こちらの研修所の強みだと考えます。今後も機会あるごとに参加をさせて頂きたいと思います。

